

あなたとつなぐ

甲賀
こうが

市議会だより

KOKA city assembly report 令和6年(2024)05.01 vol.78



Contents

- 02 【特集1】 第13回甲賀市子ども議会
- 04 新年度予算審議
- 08 議案審議3月定例会
- 11 代表質問・一般質問/市の考えを問う
- 18 議会活動レポート
- 21 組合議会報告
- 22 【特集2】 議会図書室

PHOTO 第13回子ども議会議員の皆さん(P2、3に特集)

13回目を数える子ども議会。これまでの子ども議会の取組には市政に対して新たな視点や気づきがあります。市議会としても大いに参考にすべき視点であり今回特集しました。



子どもの目線で 市政をチェック

甲賀市子ども議会とは

かふか21子ども未来会議実行委員会主催の子ども議会は、子どもが市民と交流し、文化を学び、自己の思考と行動力を育むことが目的。子どもの意見が市政に反映される場です。今回で13回目。

子ども議員と意見交換、

新鮮な気づき

2月18日、市議会広報部会と子ども議員が意見交換しました(写真)。普段、気がつかない目線での意見に気づかされることも。例えば「児童クラブは大きく、広くなっただが、移動などに時間がかかり先生が忙しそう…」や「市内企業にはインターン制度が少ない。もっとあれば良いの…」など。議会としても、未来を担う子どもたちの視点に新鮮な気づきをいただきました。



いよいよ本番!!



1月28日 甲賀市子ども議会
議長を務めた子ども議員
初登場の5年生議員



2月18日 ファイナルキャンプ
一年間ありがとう

私の質問で

改善されました



「図書館にマンガコーナー」と提案した子ども議員
(平成25年度当時)

これまで276名が登場

これまでに13回の子ども議会が開催され、276名の子どもの議員が質問に立ちました。たくさんの方の提案が実現しています。



〈提案例〉

図書館を利用してもらうためにマンガの本を置くこと↓市内5館の図書館にマンガコーナーが設置されました。

この間取りあげた 主なテーマ

- 歩行者用信号の点灯時間を長くする。
- 「東海道をもっと楽しくにぎやかに」、
「土山宿や水口宿の活性化」
- コミュニティバスが無料となる年齢が
80歳から75歳になった。
- 通学用のグリーンベルトが増えた。
- 移動販売車ができた。
- 公園や学校の遊具がよくなった。
- スポーツの森がリニューアルするようになる。
- 中学生の医療費が無料になった。
- ヘルプマークの説明が広報紙であった。
- マンホールの蓋の柄について、ポケモンマンホールが造られた。
- 信楽高原鐵道が復活した。
- 貴生川駅がリニューアルされた。
- 甲賀百人一首ができた。

子ども議会を通して

市政に参画!

若者の投票率低下が問題となる中、市政に参画しようとする子どもたちの存在は、未来に向けて大きな力に…!

「学生リーダー」として

上野 瑞季さん

子ども議員はみんな、子どもの視点で「甲賀市をもっとよくなりました」と活動しています。私も子ども議員として5年間活動、その後学生リーダーとしてサポートに加わっています。

子ども議員といっても特別な能力が必要ではありません。一年間、甲賀市のいろいろなところに行つて・見て・学ぶことで、子ども議会の場に立つ頃には、甲賀市の事が大好きになっています。

これからも、子ども議員は様々な活動に取り組んでいきます。

子ども議会1年間のあゆみ



6月4日 任命式
応募した子どもが議員に任命



6月4日 第1回地域視察
甲賀市の取組・課題について
7月22・23日 第2回地域視察
多羅尾大水害の話
9月9・10日 第3回地域視察
土山のお茶産業の話/くすり学習館の見学



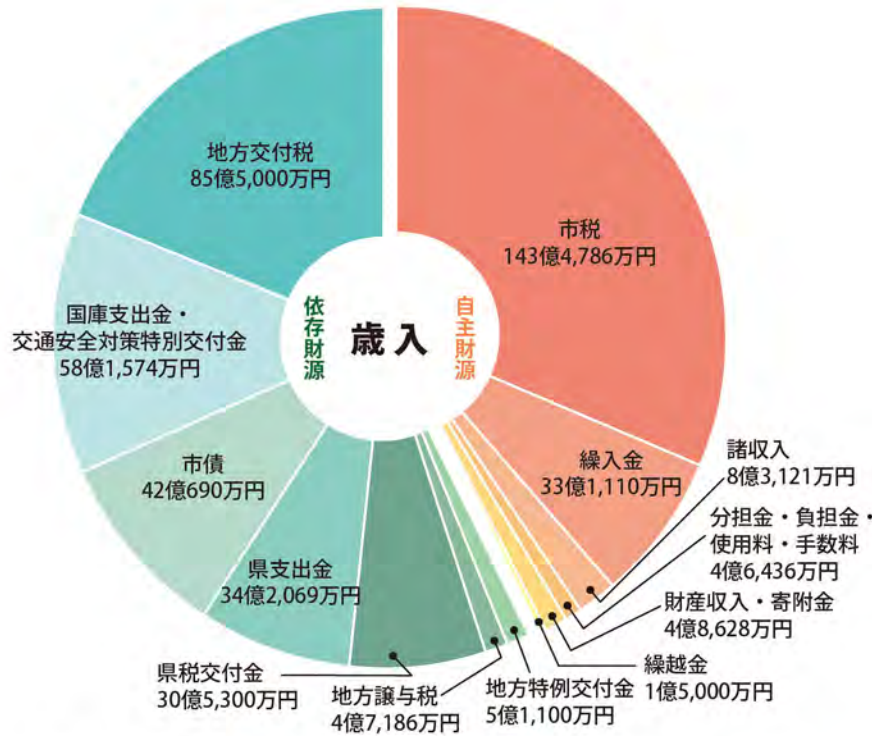
9月30日・10月28日・11月30日 提案作成
テーマの決定・調査・まとめ

集中審査 456.2億円

オール甲賀で未来につなぐ！

『新しい豊かさ』へのチャレンジ予算

3月12日から18日の5日間、予算決算常任委員会では、付託された一般会計予算案について、各部署別に審査を行い、討論採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。



令和6年度一般会計当初予算は、過去最大の予算規模となり、前年比3.9%の増加。

●「子育て・教育」

子どもがすこやかに育つための環境づくりのため、おむつ無償提供、官民連携による子育て支援、高校生医療費無償化、不登校対策としてスペシャリストサポートルーム（SSR）設置など。

●「地域経済」

道の駅あいの土山整備、2025大阪・関西万博に向けて、ブランド発信支援事業、地場産業次世代人材創出事業など。

●「福祉・介護」

産後うつや新生児への虐待予防等を図る観点で健康診査費用助成、補聴器の購入費用の一部助成、重層的支援体制整備事業など。

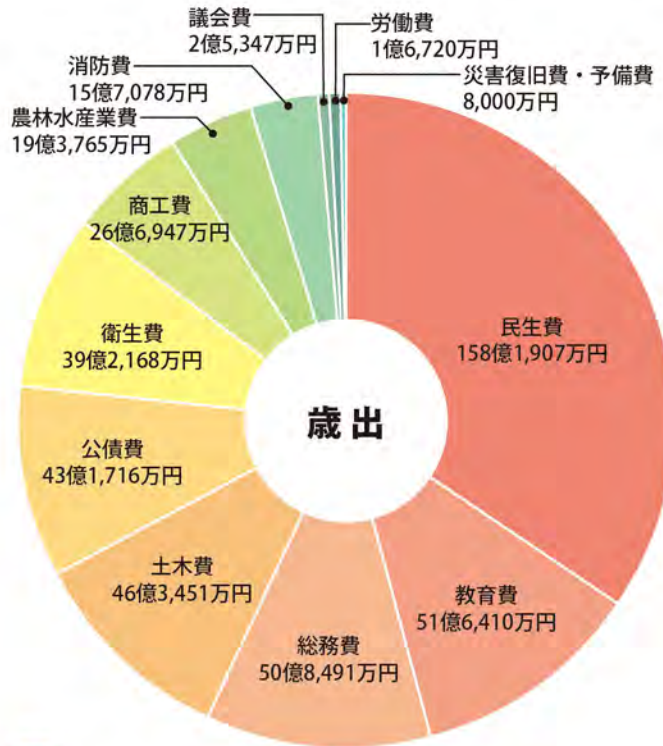
「反対討論」

道の駅あいの土山や国スポ・障スポの開催に係る施設整備などの大型事業のほかにも新規事業が多く提案されているが、市民の要望を積み上げたものに立っているかが問われており、長引く物価高騰のもと、市民の命と暮らしを支える予算の拡充こそ求められるものである。また、新規・拡充事業については、もっと議論を深めて、精度熟度を上げるべきであることから、反対。

「賛成討論」

大きなハード整備が予定されているが、「合併特例事業債発行」の最終年度において、未来へつながる投資としての積極的な取組であると理解している。また、新年度における多くの新規事業や拡充事業は、今後の「新しい豊かさ」への積極的な「挑戦」であると捉えており注視するとともに、新たに求められるニーズや市の伸びしろを的確に捉えられていることから、賛成。

令和6年度一般会計当初予算



「令和6年予算一般会計予算規模」

Q 過去最大の予算規模（456億2千万円）となった要因は。

A 「カーボンニュートラルの実現に向けたGX推進」・「こども・若者への支援」・「市制施行20周年記念事業」・「道の駅あいの土山整備」・「国スポ・障スポ開催にむけた施設整備」・「国の定額減税補足給付事業」など。

「官民連携事業の進め方」

Q 多くの部局で官民連携に取り組んでいるが、市として一貫性のある官民連携の方向性があるのか疑問である。民間からの提案もあれば、国の補助金を意識し過ぎたものも多いと感じられる。市として、しっかりと方向性を確立すべきである。また、市として行われている事業の中で、本当にこれが官民連携なのか疑問に感じる事業がある。

A ガイドラインなどの基準を作成して進める。

POINT
議案審議・審査のポイント
《令和6年一般会計》

「事業の構築と内容の精査について」

Q 一時預かり保育、病児・病後児保育無償化利用料が定められている条例を改正しないままで、全利用者を対象にした免除措置をして無償化を実施することは、妥当か。

A 今日の子どもに関する政策は流動的で、物価高騰等を考慮すると特別な事情に該当する。

Q 令和6年度からの利用料免除の影響額は。

A 一時預かり保育は、利用料収入138万円減、事業支出74万円増。病児・病後児保育は、利用料収入34万6千円減、事業支出は46万円増。

「ヤングケアラー支援」

Q 重層的支援に繋げることとケアラーを見つけるための窓口を広げることなどが必要であり、それが十分であるか、疑問である。居場所づくりも必要だが、まずは、ケアラーに寄り添って支援をしていくべきではないかを感じる。

A まずは、相談や悩みを共有できる場所の設置・運営に補助を行う。



子育て・教育に関する予算



おむつ無償提供

2,893万4,000円

市内の保育園等でおむつの無償提供を実施し、登園準備と荷物の負担軽減と保育士の庶務業務を軽減する。

主な質疑

令和7年～9年の間についても、約1億2,000万円上限に歳出を想定しているが、その財源は。



病児・病後児保育事業

【民営化】

6,757万3,000円

病児・病後児保育事業を直営から民間医療機関に移行し、補助を行う。

主な質疑

民間移行のメリットと受入体制(隔離保育室4室・最大8名)の詳細は。

フリースクール利用支援事業

336万円

フリースクールの利用経費に対する補助を行い、保護者の経済的負担軽減を図る。

主な質疑

従来の授業料補助(最大4万円/月)に加えて、交通費補助(最大1万円/月)の積算根拠は。



スペシャルサポートルーム 設置事業

1,694万3,000円

小学校21校にスペシャルサポートルーム(SSR)を設置し、教室に入りにくい児童を支援する。

主な質疑

校内のどこに設置されるのか。担当するスクーリング・ケアサポーターの資格や具体的な業務内容は。



地域経済に関する予算



道の駅あいの土山整備事業

19億8,095万円

道の駅あいの土山再整備基本計画に基づき、令和7年度オープンに向けて、国庫補助金等を使いながら、施設の再整備工事(移転建築)及び既存施設の解体工事を実施する。

主な質疑

ソフト面の対応は、大丈夫か。組織強化のソフト面も市が資金を出す理由は。



カーボンニュートラル推進事業

1,371万2,000円

環境と経済・社会活動が調和した持続可能なまち「環境未来都市」を創造していくため、市民の行動変容や事業者・行政の省エネ・再エネ導入等の取組を促進する。

主な質疑

マイボトル利用促進の狙いと効果は。支援業務委託の必要性は。

官民連携物流拠点整備 調査検討

2,006万1,000円

新名神甲賀工業団地内にて、広域物流中継拠点並びに地域活性化拠点を整備することで、広域物流ネットワークの構築と地域の関係人口の増加や賑わい活性化を目指して調査する。

主な質疑

官民連携の手法を探る調査なのか。地域活性化拠点のイメージは。この事業は、民間から？国から？それとも市が考えたのか。

Check! 福祉・介護に関する予算

福祉医療費助成事業 [乳幼児～高校生世代]

3億7,698万8,000円

子育て世代の負担軽減や子育てしやすい環境を整えることにより、子育て世代を中心とした定住を促すために、高校生世代までの医療費を無償化する。

主な質疑

給付費が増加する中で、実態に基づいた積算がされているかを確認。

対象が減っているのに助成額が増えているのは何か。

補聴器購入費補助

140万円

加齢等に伴う難聴により、コミュニケーションに支障をきたしている高齢者に対し、購入費用の一部を補助することで、閉じこもりや認知症予防に寄与する。

主な質疑

これまでは国の施策としていたが、方針転換の理由は。補助の詳細(最大：2万円、1回限り)などを確認。

防犯灯管理事業

5,546万2,000円

夜間の犯罪等を抑制し市民にとって安心な環境を維持するための防犯灯について、令和6年度からは、市が区・自治会防犯灯の電気料金負担などを行う。

主な質疑

区・自治会の防犯灯の電気料金の負担を市で行うが、修理・新設はどうなるのか。



3月定例会 議案審議

議案第2号 令和6年度甲賀市国民健康保険特別会計予算

PICK UP 1

■反対討論

議案15号で国保税が引きあげられる予算編成となっている。「高すぎで払えない」滞納者が増え、収納率が減ることも予想される。都道府県単位化は、国保の構造的危機打開どころか、国保税の引きあげにつながることは明らか。反対。

□賛成討論

予算編成については、被保険者に負担もお願いしながら、最大限の努力をされたと認識している。また、今後は1人当たりの給付費を下げていくことが非常に大事であり、保健事業費では、人間ドックに対して費用の2分の1を補助するなどの取組が見られ、今後を期待することから、賛成。

委員長報告

議案第15号甲賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定については、可決すべきものと決したが、被保険者である市民に対しては、税負担が大きくなり、執行部に対して、次の2点を委員会の総意として、申し添えた。

市として国や県に対して、国民健康保険制度の維持に関する支援を求めること。

今後の国民健康保険税の変動の行方については可能限り早期に示すこと。



議案第3号 令和6年度甲賀市後期高齢者医療特別会計予算

PICK UP 2

■反対討論

75歳という年齢で区切り、後期高齢者医療保険医療制度に移行する制度そのものに問題。高齢者が増え医療費が増加すれば、保険料に跳ね返ることとなることも問題。今回は今後2年間の保険料の見直しがされ、非常に負担感が大きくなる。制度そのものを見直していくべきであり、反対。

□賛成討論

予算編成については、被保険者に負担もお願いしながら、最大限の努力をされたと認識している。また、今後は1人当たりの給付費を下げていくことが非常に大事であり、保健事業費では、人間ドックに対して費用の2分の1を補助するなどの取組が見られ、今後を期待することから、賛成。

議案第4号 令和6年度甲賀市介護保険特別会計予算

PICK UP 3

■反対討論

40歳以降は介護保険料を支払っていることから、しっかりと介護サービスを受けられるべきだが、現実的には十分に受けられないという状況がある。居宅サービスは、利用料が高いつから、利用を手控えるという事態があるとも聞く。施設サービスは、特養の待機者が多い。介護保険料については、基金を取り崩して、据え置きをしていることは評価するべきであり、反対。

□賛成討論

令和6年度は、第9期介護保険事業計画の1年目ということだが、第8期の介護保険の事業計画の分析をしっかりとされた上での計画であると評価する。所得段階の乗率についても、甲賀市独自の14段階で定められている。さらに、認知症関連の施策も予算には含まれており、賛成。

全員賛成で可決したもの

	番 号	提案者	件 名
予 算	議案第5号	市長	令和6年度野洲川基幹水利施設管理事業特別会計予算
	議案第6号	市長	令和6年度甲賀市病院事業会計予算
	議案第7号	市長	令和6年度甲賀市水道事業会計予算
	議案第8号	市長	令和6年度甲賀市診療所事業会計予算
	議案第9号	市長	令和6年度甲賀市下水道事業会計予算
条 例	議案第10号	市長	甲賀市監査委員条例等の一部を改正する条例の制定について
	議案第11号	市長	甲賀市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第12号	市長	甲賀市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第13号	市長	甲賀市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第14号	市長	甲賀市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
	議案第16号	市長	あい甲賀ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第17号	市長	甲賀市駐車場条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第18号	市長	甲賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第19号	市長	甲賀市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第21号	市長	甲賀市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第22号	市長	甲賀市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第23号	市長	甲賀市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第24号	市長	甲賀市空家等の活用、適正管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第25号	市長	甲賀市の地方公営企業法の適用事業における利益及び資本剰余金の処分等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第26号	市長	甲賀市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第27号	市長	甲賀市病院事業設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第28号	市長	甲賀市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
補正予算	議案第29号	市長	令和5年度甲賀市一般会計補正予算（第7号）
	議案第30号	市長	令和5年度甲賀市一般会計補正予算（第8号）
	議案第31号	市長	令和5年度甲賀市介護保険特別会計補正予算（第3号）
	議案第37号	市長	令和5年度甲賀市一般会計補正予算（第9号）
その他	議案第32号	市長	指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	議案第33号	市長	指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	議案第34号	市長	指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	議案第35号	市長	財産の処分につき議決を求めることについて
	議案第36号	市長	市道路線の認定につき議決を求めることについて
	議案第38号	市長	契約の締結につき議決を求めることについて
議案第39号	市長	契約の締結につき議決を求めることについて	
意見書	意見書案第1号	木村	若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策の強化を求める意見書の提出について
	意見書案第2号	田中(将)	地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー（循環経済）の一層の推進を求める意見書の提出について

代表質問

<p>自由民主党誠翔会 小倉 剛</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和6年度予算方針及び市長公約について 2 甲賀市幼保・小中学校再編計画の進捗と今後の展望について 3 防災計画及び災害対応について 4 環境未来都市に向けたGX推進について 		
<p>日本共産党 岡田 重美</p>	<table border="1"> <tr> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1 災害からいのちを守る体制の抜本的強化、災害に強いまちづくりについて 2 政治とカネの問題について 3 平和の問題について </td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 4 コロナ禍と異常な物価高騰から市民のいのちと暮らしを守る対策を 5 岩永市政の評価と課題について 6 新年度予算案について </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> 1 災害からいのちを守る体制の抜本的強化、災害に強いまちづくりについて 2 政治とカネの問題について 3 平和の問題について 	<ol style="list-style-type: none"> 4 コロナ禍と異常な物価高騰から市民のいのちと暮らしを守る対策を 5 岩永市政の評価と課題について 6 新年度予算案について
<ol style="list-style-type: none"> 1 災害からいのちを守る体制の抜本的強化、災害に強いまちづくりについて 2 政治とカネの問題について 3 平和の問題について 	<ol style="list-style-type: none"> 4 コロナ禍と異常な物価高騰から市民のいのちと暮らしを守る対策を 5 岩永市政の評価と課題について 6 新年度予算案について 		
<p>公明党 田中 將之</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「選ばれるまちづくり」の実現に向けて 		
<p>凜風会 西村 慧</p>	<table border="1"> <tr> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1 市長2期目任期の最終年度にあたって 2 市制施行20周年を迎えるにあたって 3 持続可能な行政運営について 4 「環境未来都市」こうかの実現に向けて 5 未来を担う子ども・若者支援について </td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 6 災害から生命と財産を守る備えについて 7 誰一人取り残さないまち「地域共生社会」の実現について 8 人口減少下でのまちづくりについて 9 地域経済と公共交通について </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> 1 市長2期目任期の最終年度にあたって 2 市制施行20周年を迎えるにあたって 3 持続可能な行政運営について 4 「環境未来都市」こうかの実現に向けて 5 未来を担う子ども・若者支援について 	<ol style="list-style-type: none"> 6 災害から生命と財産を守る備えについて 7 誰一人取り残さないまち「地域共生社会」の実現について 8 人口減少下でのまちづくりについて 9 地域経済と公共交通について
<ol style="list-style-type: none"> 1 市長2期目任期の最終年度にあたって 2 市制施行20周年を迎えるにあたって 3 持続可能な行政運営について 4 「環境未来都市」こうかの実現に向けて 5 未来を担う子ども・若者支援について 	<ol style="list-style-type: none"> 6 災害から生命と財産を守る備えについて 7 誰一人取り残さないまち「地域共生社会」の実現について 8 人口減少下でのまちづくりについて 9 地域経済と公共交通について 		

一般質問

<p>木村 眞雄</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 今後の健康推進員の募集のあり方について 2 公共施設のトイレ洋式化について 3 自転車の安全利用対策について
<p>田中 喜克</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「合併から20年、更なる飛躍の歩みを進めるために」 思い描く 将来の中心市街地の活性化は 2 急ぎ取り組むべき「公共施設の最適化」について 3 将来においても健全な財政運営を推し進めるには 4 まちづくりに重要な「職員の意識改革」を 5 市外への積極的情報の発信と国内外との交流・異文化交流の積極的推進を
<p>堀 郁子</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 終活支援について 2 児童生徒のプライバシーや心情に配慮した健康診断実施のための環境整備について 3 学校の災害対策について
<p>北田 麗子</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 権利擁護支援センター「ぱんじー」の今後について 2 有資格者・専門職職員の人材育成と配置について
<p>瀬古 幾司</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 耕作放棄地の利活用と太陽光発電施策について 2 能登半島地震を踏まえ、本市避難所について
<p>奥村 則夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 甲賀市の地震への備えについて 2 地域別ブランドデザインについて
<p>谷永 兼二</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 ソーシャルファーム(社会的企業)について 2 幼保・小中学校再編計画について
<p>福井 進</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 区・自治会が所有する「自治ハウス等の整備」 2 持続可能で地域に根差した保育施設の整備
<p>山岡 光広</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 視覚障害者の福祉施策について 2 通学バスの補助制度について 3 コミュニティバス・コミュニティタクシーの再編問題について 4 国民健康保険税の今後について
<p>西山 実</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 有機フッ素化合物の検査について 2 コンクリートブロックや石畳の歩道、道路の改修について 3 水口細工の保存・伝承を
<p>橋本 律子</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 新たな豊かな共育環境づくりへ 2 官民協働のさらなる推進・効果的財政運営を問う
<p>林田 久充</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 能登半島地震からの甲賀市の課題について 2 貴生川駅南口交流拠点基本計画案等について 3 認定子ども園にかかる公私連携協定書について
<p>中島 裕介</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 稼ぐまちづくりについて 2 過去問からの現況について ～あの質問どうなりました?～
<p>田中 新人</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 放課後児童クラブ(学童保育)について 2 結婚支援対策の推進について 3 みどりの食料システム戦略の有機農業について
<p>西田 忠</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 イノシシをはじめとする鳥獣害対策について 2 神君伊賀甲賀越えの観光活用について

19人の議員が
市の考えを問う
 第1回定例会の代表質問が2月28日に、一般質問が3月4・5・6日の3日間に渡って行われ、19人の議員が質問しました。
 質問と答弁を要約した内容を通告順に掲載します。

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



日本共産党

おかだ しげみ
岡田 重美



岩永市政の評価と課題について

質問

①人口減少が加速していることの認識、原因はどこにあるか。②人口減少対策として子育て施策の充実が重要。学校給食無償化に踏み切るべき。③市民に安心のサービスを提供するには職員の削減ではなく増員が必要ではないか。④選管から提案の投票所削減は投票率の低下を招き、市民の投票権を奪うものではないか。⑤市政のあらゆる分野でジェンダー平等の視点を。⑥南土土地先での産廃処分場建設計画に対する今後の関わりは。

回答

①本市ではこの5年間に2,474人減少、少子高齢化などにより全国的に減少している。②「質にこだわった給食」を提供している。無償化は国が進めるべきもの。③新年度は増員をはかる。第5次の職員適正化計画策定を予定している。④投票区域編成審議会の意見や選管での決定内容を十分に尊重していく。⑤ジェンダー平等の視点に立った施策推進と意識醸成に努める。⑥許可や指導などは県にあり、県に対し適正な審査や監視を求めていく。

災害に強いまちづくりについて

質問

能登半島地震の教訓から①災害が発生した際の初動体制は整っているか。②災害関連死を防ぐ備えは。③女性の意見を取り入れた避難所運営を。④今回の地震の教訓は何か。⑤原発再稼働はやめ原発ゼロを目指すべき、安定ヨウ素剤の配備を。

回答

①初動体制を確立し対応できるよう防災計画に示している。②段ボールベッド等物品の確保、適切な衛生管理等の対策を行う。③避難所運営マニュアルの検証を行い、必要に応じ見直しを図る。④ライフラインの耐震化等災害に強い施設整備、地域における防災意識向上への支援。⑤再稼働は国により判断されるもの、安定ヨウ素剤は必要時、国から供給される。

政治とカネの問題について

質問

自民党の裏金問題は完全な違法行為であり、全容解明なくして再発防止はない。真相究明すべきではないか、所見を伺う。

回答

捜査が行われ事実究明が進められている、政治倫理審査会において国民に対し説明がされるものと認識している。



自由民主党誠翔会

おぐら なつき
小倉 剛



令和6年度予算方針及び市長公約について

質問

①新年度予算の特徴及び市長から特に指示された点は。②新年度の方針の中で、新しい考え方、継続の考え方は。③岩永市政2期目の政策集を鑑み、新年度事業の考えは。

回答

①予算編成においては、市民ファーストの目線で施策を構築することが重要と考えており、そのためには、職員が市民や地域の声にしっかりと耳を傾け、過度な公平性や一律一辺倒な考えに捉われずに、市役所の中からでは見えてこない市民ニーズや課題をしっかりと認識をしたうえで、部局長のリーダーシップ、マネジメントによる予算編成に努めていくよう指示を出した。②いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しい変化を取り入れていく「不易流行」の言葉のとおり、残すべきものは残し、変えるべきものは変えることが、社会の発展には不可欠であると考えている。③就任当時とは大きく変化する社会情勢の中において、アフターコロナにおける「新しい豊かさ」を追求し、複雑化、多様化する市民ニーズに応え、本市の「伸びしろ」を活かすことで、就任当初より最も注力をしてまいりました、「子育て・教育」をはじめ、「地域経済」「福祉・介護」の3つのテーマにより一層の磨きをかけ、政策集に掲げております各施策それぞれの達成状況を一つ一つ確認をしながら、市民の皆様にも市政2期目4年目の成果をしっかりと示しすることを基本に進めてきた。

防災計画及び災害対応について

質問

防災計画及び災害対応について(備蓄用品の確保)。

回答

各家庭においては、最低でも3日間、可能な限り1週間分程度の食料及び生活必需品を備蓄することや、非常時の持ち出し品の準備、それらの定期的な点検による入れ替えや置き場所を決めておくなど、ホームページや啓発パンフレット、出前講座等において広く周知を図る。

甲賀市幼保・小中学校再編計画の進捗と今後の展望について

質問

今後、再編計画を進めていくにあたっての決意は。

回答

今こそ、これを積極的に進めなければ、本市の学校教育の未来は厳しいものがあると強い危機感を持っており、将来的な学校のあるべき姿の実現に少しでも近づけるよう、子どもたちを真ん中に、地域とともにある魅力的な学校づくりに邁進していく。



凜風会
にしむら
西村 慧



市長2期目任期の最終年度にあたって

質問

①「新たに求められるニーズや本市の『伸びしろ』を的確に捉える」予算とは。②都市間競争において、本市が勝ち抜くためには。

回答

①少子化や核家族化が進む中で、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指す。都市機能の集積や居住満足度を向上させ、定住化や人口維持、増加を図る。
②道路網や地理的な優位性、多種多様な企業立地の強みを活かし、「転入増加」継続、拡大を図り、若者・子育て世代の増加を出生数の増加に繋げる。

誰一人取り残さないまち 「地域共生社会」の実現について

質問

①孤独・孤立の実態把握とアウトリーチ活動の展開は。②交通弱者に対する移動支援サービスの考えは。

回答

①令和4年度にアンケートを実施し、531名の回答を得たことで、SOSが届いていない孤独・孤立状態の方が多数いることを示している結果となった。基礎自治体の責務として、個別的な相談援助に注力し、取組を進める。②高齢化率は上昇しており、心身の状況や地域に関わらず、行きたい時に行きたい場所へ安全に外出できるよう、取り組んでいきたい。

未来を担う子ども・若者支援について

質問

①甲賀保健医療圏域内における夜間の小児二次救急診療の実施を。②若者・子育て世代に選ばれる「子ども・若者支援」について。

回答

①夜間帯に関しては、「滋賀県保健医療計画」に基づき、済生会滋賀県病院(栗東市)が小児二次救急診療を担っている。令和3年4月より集約化となったが、市としては、状況を注視するとともに、アクセス環境の改善などを県に求めていきたい。②「こうかおむつ便」、「金の卵プロジェクト」、「奨学金返還支援事業」などの「子ども・若者支援」策をパッケージで発信することにより、選ばれるまちづくりを一層推進していきたい。

「環境未来都市」こうかの実現に向けて

質問

①特筆すべき本市ならではのポイントは。②脱炭素・地域エネルギー促進に向けた市民・事業者・行政職員への行動変容の働きかけは。

回答

①2030年度に2013年度比で、温室効果ガス50%削減の野心的な目標を掲げている(国の目標：46%削減)。
②省エネ診断等の効果の見える化や市民・事業者・職員のさらなる機運醸成が必要だと感じている。



公明党
たなか
田中 将之



人口フレームを87,000人に堅持するには

質問

人口フレームを堅持するための施策について①自然増減、社会増減のための施策。②多文化共生を進めるなか、外国人の受入れについて、政策的にどう考えるのか。

回答

①出生率の向上と若者のUIターンを促進する施策に注力。具体的には、結婚新生活を応援する補助金、子育て支援のための医療給付、おむつの無償提供など子育てや教育分野で充実したサポート体制を整えている。
②外国人人口は4,500人を超え、全国平均の2.4%を大幅に上回る5%を記録。このような外国人市民の積極的な受入れと支援は、持続可能な自治体経営と地域経済の活性化に寄与するとともに、人口フレームの維持に不可欠。

小中学校再編計画をどう進めるのか

質問

令和3年度の市小中学校教育のあり方審議会の提言では「より良い教育環境とは、一定の人数の集団が確保される必要がある。そのために、きわめて小規模の学校が保護者や地域の理解・支援のもと解消されることが望ましい」と提言されている。人口減少を視野に入れた「多様な学び」を保障する視点を考慮すると学校の再編は避けては通れない大きな課題であることから、多様な学びの保障、児童・生徒の学力向上と健全な育成を守る基本方針は。

回答

少子化の加速、教育ニーズの多様化する中、次期計画でも、集団生活の中で多様な考え方に触れ、互いに高めあいつながりながら資質や能力を伸ばしていける環境を構築する。

「選ばれるまちづくり」に向けて

質問

市民意識調査から浮かび上がった愛着と住み続けたいとの間の約20%の溝をどう埋めるための施策として、①インナープロモーションの強化。②このまちの「強み」を生かすこと。③市民がありのままを表現できる甲賀市に。

回答

①まちへの愛着や誇りを感じることができ、「このまちを他の人にも勧めたい」、自ら情報発信の担い手となって関わる人の総量が増え、結果として外向けのプロモーションの充実にも波及。②強みを活かし、新たな業態の企業誘致、更なるインバウンド需要の取り込み。これにより財源確保、住民サービスの向上を進め、市外への人口流出を食い止めたい。③2025年に計画の「表現祭」とは、大阪・関西万博のテーマでもある「いのち輝く未来社会のデザイン」につながる「新しい豊かさ」を市民と共有する機会であり、多様な自己表現、多様な生き方を認め合えるようなムーブメントを生み出すことが目的。文化、芸術をはじめ、食、ものづくりなど、「作る」「伝える」「見せる」行為全般を「表現」と捉え、参加者が受け手として楽しむだけでなく、市民の誰もが自分らしさを表現でき、「新しい豊かさ」を実感できるまちづくりへの一歩となるよう準備を進める。



公明党
ほり いくこ
堀 郁子



終活支援安心センターの設置は

質問

豊島区の終活支援あんしんセンターの相談事業は65歳以上の方と家族を対象に、相続、終活全般、葬儀・納骨・お墓などの相談に応じる。弁護士など専門家の相談も月1回。終活情報登録事業も行い緊急連絡先、遺言書の保管場所など9項目を登録し、何かあった時に照会登録者に開示する。横須賀市のエンディングプラン・サポート事業は、利用者が市の協力葬儀社と生前契約して費用を預け、亡くなった後は、市と協力葬儀社が連携して葬儀や納骨を行う。対象者は身寄りのない低所得の単身高齢者に限定。甲賀市でもどうか。

回答

終活情報登録事業の検討は必要だがアウトリーチ型支援を整備する。エンディングプラン・サポート事業は身寄りない方への支援ガイドラインで支援関係者と協働による相談体制を構築。終活支援あんしんセンターの窓口は必要。



公明党
きむら まさお
木村 真雄



今後の健康推進員の募集のあり方について

質問

今後の募集方針を伺う。

回答

今後も公募制で進めていく。健康推進員は地域の健康づくりのリーダーであり、活動の拠点は地域である。公募制で受講していただけるよう、各区・自治会のご理解とご協力をお願いしたい。

公共施設のトイレ洋式化について

質問

①貴生川駅は、市の玄関口、交通の要衝、観光の拠点としての機能が高いことから、整備を進める必要があると考えるが、見解を伺う。②当駅はJR管理だが、市がどの範囲まで関わるができるのか。

回答

①利便性の向上に努めるべき。順次、洋式化を進めていく必要がある。②JRが管理する施設や設備は、市が直接改修はできない。JRに要望することになる。

自転車の安全利用対策について

質問

自転車安全利用の具体的な方策やルール意識化のためのナビライン・ナビマークの設置について見解を伺う。

回答

交通安全運動の街頭啓発や市HP、音声放送などで啓発する。自転車ナビラインやナビマークは有効な手段である。研究をする。



自由民主党 誠翔会
きただ れいこ
北田 麗子



権利擁護支援センター「ばんじー」の今後について

質問

①事業内容は。②地域連携で事業を進めていくためには。③福祉分野の人材登用・育成について市の考えは。

回答

①権利擁護・成年後見に関する相談支援、普及・啓発・研修・受任支援、市民後見人の養成及び支援。②地域住民を含めた権利擁護支援の担い手育成のあり方を幅広い視点で議論を重ねていく。③社会福祉士等の専門職の確保・研修の充実・OJTの実施による人材育成体制整備を進めていく。

有資格者・専門職職員の人材育成と配置は

質問

①部局内の専門職・有資格者配置の現状、課題、求める人材像は。②入職後の資格取得に向けてのサポートは。③有資格者・専門職を育てていくためには。

回答

①特に土木技師が少なく厳しい。限られた人員で高い専門性を持ち、常にコストやスピードを意識し、経営感覚を有する人材の確保や育成が求められる。②助成制度がある。本年度は6名の職員が資格を取得。③研修や資格取得助成制度の充実・強化を図り、職員全体の資質向上・専門職人材の育成に努めていく。



自由民主党 誠翔会
たなか よしかつ
田中 喜克



合併から20年、更なる飛躍のために「公共施設の最適化」を急ぎ進める

質問

平成29年度からの40年間で公共建築物の総床面積の30%を減らすとの計画はどのように？また全公共施設の50%以上が30年以上とされる中、改修更新、また施設の統廃合は。

回答

令和元年度から3期各10年間で10%ずつ削減し令和38年度末までに30%削減を目指す。改修更新費用は今後40年間で1,112億9千万円必要で、約350億円が不足する。施設の長寿命化、統廃合の両面で進める。

将来にわたり健全な財政運営を進めるために

質問

①甲賀市の財政状況は？財政状況は健全か？②新たな財源の見通し、財源確保の方策は？

回答

①財政指標の実質収支比率9.4%、経常収支比率90.2%、将来負担比率28.9%等指標から市財政は「健全」な状況である。②新たな財源確保に産業振興、企業誘致を行い法人税等増収を図る。



凜風会
谷永 兼二



ソーシャルファーム（社会的企業）について

質問 ソーシャルファームの推進と支援についての考えは。
回答 誰一人取り残さない「地域共生社会」の推進には、ソーシャルファームの概念を持った企業事業所の存在は必要であると認識している。今後市内の社会福祉法人をはじめ企業事業所に対し、事業形態の一つの選択肢としてソーシャルファームの概念を取り入れていただければ、普及啓発するなど、推進にしっかりと努めたい。

幼保・小中学校再編計画について

質問 来年度で再編計画期間が終了するが、今後は。
回答 令和6年度中に後継の再編計画策定し、その後、地域や保護者の皆様に丁寧な説明と合意形成を図りながら進めたいと考えている。急速な少子化の進行を考えると、新しい時代に対応した学校づくりを、今、積極的に進めなければ本市学校教育の未来は厳しいものがあるという強い危機感を持ち、将来的な学校のあるべき姿の実現に少しでも近づけるよう、子どもたちを最優先に考え、地域と共にある魅力的な学校づくりに邁進する。



無所属
福井 すすむ



自治ハウスの現状と区・自治会に対する整備補助事業の拡充

質問 ①災害時に「自主避難所」となる自治ハウスの老朽化の現状。②甲賀市の自治ハウス整備事業の補助制度の内容。③補助制度の拡充を要望。
回答 ①1970年代の国・県の事業で建築されたものは、老朽化も進んでいる。②建築・耐震補強・バリアフリー改修に対する経費の3分の1。③補助制度の調査研究と共に、柔軟な制度運用も視野に検討する。

公立保育園の老朽化の現状と小規模保育園の存続について

持続可能で地域に根差した保育施設の整備に関して、
質問 ①希望ヶ丘保育園の建替え。②雲井保育園・大野保育園・土山にこにこ園・甲賀北保育園の老朽化と再編。③小規模保育園の存続を含めた再編の見直しを要望。
回答 ①大規模改修を実施した。②内装等の改修を実施した。③子ども・子育て応援団会議等からの意見をいただき施設整備の在り方について検討を進める。



凜風会
瀬古 幾司



耕作放棄地の利活用と太陽光発電施策について

質問 ①荒れ地として放置するのではなく、山林に転化できないか。②耕作放棄地を活用して太陽光発電設備の設置はどうか。③データセンター誘致に向けた電力供給として有効ではないか。④営農型太陽光発電を普及しては。
回答 ①CO2削減の観点から山林への転用も有効。②農振農用地以外で再生困難な農地への設置は脱炭素化に向け有用。③進出企業において検討可能な取組と考える。④市内に7ヶ所あるが、普及には課題もあり、先進事例を研究する。

本市の避難場所について

質問 ①木津川断層帯地震では避難所生活者想定1万6,511人だが、指定避難所に収容可能か。②指定避難所の体育館に空調が必要では。③地域の公民館等への避難は。
回答 ①理論上は可能だが保育園等第二次開設も想定している。②中学校は整備予定、他の体育館も今後検討する。③自主避難所に指定しているが、支援物資配備の為、できる限り指定避難所へ移動してほしい。



自由民主党誠翔会
奥村 則夫



甲賀市の地震の備えについて

質問 ①避難食料貯蓄量は。②より甲賀市独自の備えの必要性を感じるが。
回答 ①発災後、3日間を市民、市、県がそれぞれ1日分貯蓄し、市は3万7千食あまり備蓄し、区・自治会・自治振興会の備蓄状況は把握していない。②県と連携し「防災アセスメント調査」の見直しを行い、実情に基づき地域防災計画の修正を検討する。

地域別ランドデザインについて

若い世代や女性の声が反映される地域別ランドデザインになり、将来にわたって住みよい地域としていくことは誰もが望んでいることを観点に質問した。
質問 ①財政的なアドバンテージがあるのか。②地域別ランドデザインの取り扱いと市政への取り入れ方は。
回答 ①今後の施策や事業の優先順位を考える判断材料にする。②地域の総合計画として期待し、庁内で議論し、市政運営に取り入れていきたい。



凜風会

はしもと
橋本 律子



新たな不登校対策をより豊かな共有環境づくりへ

質問

①スペシャルサポートルーム設置と現状支援の連携は？②幼保一小一中への切れ目ない支援取組へ。③子どもが自ら選ぶ居場所となるよう、学校一地域一家庭等の包括的体制が必要だが。

回答

①一人一人のニーズに応じた多様な学びの場を提供しているが、さらにきめ細かな校内支援を拡充・連携する。②幼保一連携や小中連携事業において、出前授業・一日体験等加味し、切れ目のない制度へ。③ネーミングや構える雰囲気配慮し、関係課と協議し工夫していく。

外部監査指摘事項の見直しから効果的財政運営へどう図る

質問

①是正に向けた対応と・課題をどう捉えてきたか。②指摘事項の改善・補助金の適正化の今後は。③合併復活用期限の最終年度となる今後の効果的財政運営はどうか。

回答

①自治体の組織に属さない専門的監査により機能の充実・強化が表面化した。②追跡は令和3年で終了、287の補助事業を事務評価・適正化へ対処していく。③市として過度な公平性や一律一辺倒ではない、実情に応じた制度・サービスの充実が必要と考える。



凜風会

はやしだ
林田 久充



能登半島地震からの甲賀市の課題について

質問

①甲賀市の耐震化率の現状は。②85.7%も進んでいるように感じられないが、平成28年度から令和5年度までの耐震化診断申請は110件。耐震改修申請は10件と聞く。余りにも少ないがこの要因は。③市長の考えは。

回答

①令和7年度の耐震化目標率は95%、現状85.7%。②費用負担が大きい。家庭の事情等。③最新情報に基づいた地域防災計画の修正を検討。耐震改修が進むよう、新たな施策が必要と考えている。

貴生川駅南口交流拠点基本計画案等について

質問

①虫生野東部の区画整理事業や道路整備との連動性は必要ないか。②懸案事項に、現状では民間投資開発が望めないとする。この根拠は。③駅南口、北口ビジョンを推進する中長期的を推進するイメージは。

回答

①区画整理事業は、令和7年度に組合設立予定。連動は必要。②現状では、民間投資の呼び込みは厳しいことが市場調査で見える。③地域密着型の民間会社である「まちづくり会社」も一つの方法として検討。



日本共産党

やまおか
山岡 光広



視覚障害者の福祉施策充実を

質問

①高齢になるほど視覚障害者が多い。実態は。②予防のために特定健診・人間ドックで「眼底・眼圧検査」の実施を。③音響信号の整備を。

回答

①視覚障害者手帳保持者は216名。うち70歳以上が63.4%。②検査項目にはないが人間ドックで眼底検査を受ければ補助率2分の1、上限2万円の助成がある。③市内8か所に設置。今後追加設置要望していく。

コミバス再編 利用者の声を聴き改善を

質問

①多様なニーズに応えるといいながら減便が多い。②コミバスの役割は。③4月実施後改善の要望があれば、それを前提に早急に再編すべき。

回答

①利用が少ない路線を「予約制デマンド」に移行。②日常生活を支え、通勤・通学、ビジネスや旅行で本市を訪問する人の重要な移動手段と認識している。③効率的で利便性が高い交通網となるよう、令和7年4月実施を目途に改善する予定。利用者からの声に、柔軟に改善を図っていきたい。



日本共産党

にしやま
西山 実



有機フッ素化合物の検査について

質問

全国的に問題となっている有機フッ素化合物。甲賀市内の河川や水道水の検査状況について伺う。

回答

河川は国・県により、野洲川、大戸川、信楽川が検査されており、最大値は22ng/L。また、上水道課が実施する、水源地など17か所の井戸等で採水した「原水」及び13か所から採水した「水道水」の最大値は11ng/Lといずれも国が設定する指針値50ng/L以下となっている。

水口細工の保存・伝承を

質問

甲賀市が水口細工を地域の文化として守り育てること、年々収穫量が減っている原料の葛づつ、アオツツラフジの採取の協力について伺う。

回答

水口細工は、昭和40年代まで藤細工の最高峰とされた地域の代表的産業であったことから、水口歴史民俗資料館で所蔵する企画展を開催する等、保存・伝承に努めている。引き続き水口細工復興研究会の活動を支援し、保存・伝承とともに、原料調達に協力する。



凜風会
にしだ まこと
西田 忠



イノシシなどの獣害対策について

質問

農業被害の統計的な減少にもかかわらず、ここ数年獣害被害はますます深刻化している。実態を把握し、原因究明とその対策を。また、食材としてジビエ活用は。イノシシの生息数を正確に把握することは困難。地域狩猟者団体の協力を得て通年での捕獲強化対策を講じている。ジビエについては、加工処理施設の具体化に向け協議を進めている。

回答

神君伊賀越えの観光利用について

質問

神君伊賀越えの甲賀越えルートが注目されている。徳川家康の逃避行を甲賀忍者が手助けしたともいえる史実は格好の観光素材であり、徒歩による観光ルートが設定できないか。

回答

実際に現地を見て歩くことで、家康もこの景色をご覧になったのではないかと想像を巡らせ歩く甲賀越えルートにその説得力を感じた。是非多くの方に体験し、本市の歴史ロマンに触れていただきたい。この気運を逃さず、魅力あるルート整備をしっかりと行い観光誘客に繋げたい。

意見交換会の結果を報告

令和5年の「市民の皆様との意見交換会」は、11団体の区・自治会・自治振興会で開催しました。いただいた意見を常任委員会等で調査・研究を行う事項や、議会から市に要望するものを区分けし、市長にその内容を伝えました。市長は「貴重な意見を大切にし、市政に反映できるよう検討したい」と述べました。



左から広聴部会長・広報広聴委員長・議長・市長



自由民主党誠翔会
なかじま ゆうすけ
中島 裕介



過去問からの現況について

質問

①市の魅力発信についての現況。②市のHPについて。③ふるさと納税にコト(体験)を増やす動きについて。④ゴルフ場利用税交付金の市民還元率について。⑤国スポ・障スポの会場として、ゴルフに対しての機運醸成について。

回答

①甲賀市公式LINEは、更なる利活用を図るため、セグメント配信を取り入れた。②引き続き他の市町も参考にしながら、利用者の声をお聞きし、利用者目線での改善に努め、情報が伝わる、利便性の高いホームページの作成に努める。③令和5年2月にオンラインのゴルフクーポン券、11月に市内病院での人間ドックや検査等に利用できるクーポン券、令和6年1月には県内初となる現地決済型のふるさと納税サービスを導入している。④ゴルフ場利用税交付金の歳入予算額が3億4,000万円で、ゴルフ振興に直接関連する予算額としての還元率としては4.0%。⑤本大会の成功に向け、万全を尽くし、また健康づくり、人との出会いなど、生涯の趣味にもなり得るゴルフの魅力の発信や普及促進につなげる。



凜風会
たなか あらと
田中 新人



結婚支援対策の推進について

質問

①甲賀市の年間婚姻件数は。②甲賀市の出生率の目標値は。③出生率向上のために実施した施策と効果は。

回答

①直近の令和4年度は314件。②合計特殊出生率の当面の目標値を1.64。③結婚支援、結婚新生活応援補助、子育て応援医療給付、おむつの無償提供。

みどりの食料システム戦略の有機農業について

質問

①本市の有機農業の実施状況は。②今後の有機農業の取組内容と進め方は。③有機農業の取組実績は。④化学肥料を使用しない栽培方法は。⑤農薬を使用しない自動抑制ロボットは。

回答

①令和5年度は、8団体、約20haを実施。②慣行栽培農産物との差別化で、併せて、安心・安全な、有機農業の推進に繋げていく。③新品種「きらみずき」で10a当たり概ね300～420kgの収量。④耕畜連携を継続し、地域の未利用資源である、生ごみや下水汚泥を肥料として活用していく。⑤使用方法や導入コストを勘案しながら検討。

常任委員会

総務

活動日誌

- 1月19日 調査報告 第5回甲賀市投票区域編成審議会の審議状況
令和6年度当初予算見積の状況(総務部内示)
- 2月15日 調査報告 第6回甲賀市投票区域編成審議会の審議状況
令和6年能登半島地震に伴う職員等の派遣、信楽消防署(長野区自治会所有)の用地取得、公共施設使用料の見直し方針に係る共通の減免基準
- 3月11日 調査 甲賀公共職業安定所移転に伴う市有地売り払い、投票区の見直し答申書(案)など

所管事務調査

甲賀市投票区域編成

審議会の審議状況

令和4年10月13日に第1回の審議会が開催され、令和5年12月25日までに合計5回の審議会が開催されました。見直しの背景としては、「不適正処理に関する第三者委員会」からの答申による「選挙事務の効率化と合理化」、「投票環境の向上」、「当日投票者数の減少」、「投票管理者や同立会人をはじめ、事務従事者、災害対応職員の確保」の観点から見直しが必要。併せて可能な限り広い投票空間の確保やバリアフリーなどの施設面での見直しも必要でとの説明が事務局から審議会になされました。

また、これまでの審議会では、『類似自治体の投票区の状況』、『市内投票所の現状』、『見直し(案)』、『投票所等の見直しに伴う支援体制(案)』について審議されました。Q 審議会での議論の判断材料はどのように示しているのか。

A 事務局案として「95か所を37か所」との資料を示した。



審議会の様子

Q 投票区の見直しの根拠は。

A 投票区有権者が概ね3千人以内、住居から投票所までの距離3km以内という国の通知を基準とした。

Q 投票率低下に繋がらないように、投票所への移動支援への配慮も必要。

A 投票率が上がり、より投票に行ってもらいやすい環境をつくる改正としたい。

報告事項

投票区の見直し答申書(案)

令和4年10月13日付で甲賀市選挙管理委員会から投票区域編成審議会に投票区の見直しについての諮問がなされ、答申書(案)がまとまったことから、委員会に報告がありました。

【答申(案)「投票所数」】

現在95ある投票所を一定削除することはやむを得ないが、示された37への見直しは急激であり、投票率低下が心配される。自宅からの距離3km以内などの国通達を遵守するとともに地域事情を十分考慮し段階的見直しに努められたい。

Q 今回56か所という数を示しているが、どのように考えているのか。

A 当初37か所を考えていて、それ以外に3kmをこえる部分について19か所を追加した考え。十分に確認できていない状況のため、答申を基に選挙管理委員会に精査し再編の数を決定する必要がある。

常任 厚生 文教 委員会

活動日誌

- 1月17日 調査 信楽こども園、水口児童クラブ、水口中央公民館改築工事の現地視察
報告 第2次甲賀市地域福祉計画、第3期甲賀市子ども・子育て応援団支援事業計画の策定方針等
- 2月5日 調査 レイモンド甲賀こども園の現地視察
報告 甲賀市第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画期間の介護保険料、信楽小学校改築工事基本設計等
- 3月8日 報告 病児・病後児保育事業施設設置運営事業者の内定結果、第4期教育振興計画案の策定方針等

所管事務調査

水口中央公民館改築工事の現地視察

の現地視察



昭和44年に築造され、施設の老朽化が著しかったことから、令和5年4月より改築工事に着手。令和6年度当初に完了予定であり、1月17日に現地視察を実施しました。

地球温暖化防止の取組として「地産木材の活用」、外観は、旧東海道宿場町としての歴史風景と調和する建物としています。

レイモンド甲賀こども園の現地視察

令和6年4月開園した園について、「社会福祉法人檸檬会」による新園舎建設工事が実施されている中で、2月5日に現地視察を実施しました。

施設内の両端には「遊びの森」

と「創造の森」という2つの緑豊かな園庭を整備。建物内には温かみのある滋賀県産木材を使用されています。

今後、周辺交通量の変化も予想され、市としても安全性確保に共に取り組むべきとの指摘がありました。

報告事項

令和6年度保育園等の入園決定の誤りに関する対応について

入園審査基準指数表において、3〜5歳児童の「就学前の配慮に係る指数」が一部に反映されず、入園決定に誤りが生じました。

Q 影響の範囲は。

A 入園決定通知を行った2,723人のうち、入園決定に変更が生じたのは、82人です。

Q 誤りが生じた主な原因は。

A システムの委託業者が市の指し通りにプログラムの設定を変更できていなかったこと、市のチェックが不十分でありました。

いわゆるオウム真理教に対する観察処分の期間更新決定について

令和5年9月に「オウム真理教 (Aum)、ひかりの輪、山田らの集団)に対する公安調査庁による観察処分の期間更新を求める意見書」を甲賀市議会からも提出したが、1月12日に公安調査庁が、団体規制法に基づき3年間の更新を認める決定をしました。

防犯灯の管理について

区・自治会所有の防犯灯について、令和6年4月より、「集落内、集落外とも維持管理電気料金の負担、修繕」及び「新たな設置基準に基づく防犯灯の新設」については、市の負担で行います。

Q 新たに市の負担となる防犯灯の電気料金とその数は。

A 年間で3,700万円であり、約9千基の予定です。

Q 新たな設置基準とは。

A 防犯灯の間隔は、約60m毎に1灯としますが、小、中、高校生の通学する道路は、必要な場合、約30mとします。

常任委員 産業建設委員会

活動日誌

- 1月19日 調査報告 下水道施設の包括的維持管理業務委託 貴生川駅周辺整備事業にかかる社会実験の結果と貴生川駅南口官民連携交流拠点基本計画など
- 2月9日 調査報告 公共下水道長野地区管渠整備の工事現地視察 令和5年度上下水道事業の進捗状況、ネイチャーポジティブの実現に向けた取り組みなど
- 3月8日 報告 コミュニティバス・コミュニティタクシーのダイヤ改正など

所管事務調査

下水道施設を民間1者へ維持管理業務を委託

下水道施設の公共下水道施設と農業集落排水処理施設（終末処理場・中継ポンプ場・マンホールポンプ・管路施設など）を、個別に3者と委託契約していましたが、4月1日から（株）水ロテクノスの1者と包括的維持管理業務として委託契約を締結するもの。

利点として、市内には、多くの下水道施設が存在し、維持管理上、現状の職員で支えていくことは困難となるため、処理施設やポンプ施設の維持管理を集約し、効率的・効果的な維持管理ができるよう民間業者のノウハウや創意工夫により住民サービスの向上につなげるもの。

Q 委託により住民サービスは向上するのか。

A 住民からの通報が直接委託者に行くことにより初動体制が早くなるなどメリットがある。

Q 経費的なメリットは。

A 一括で委託することで年6百

万円程度は削減できるのではないかと。

狭隘な道路での

管渠布設を現地視察

信楽町長野地区で整備されている公共下水道管渠整備の状況を現地で確認しました。狭い道路の中に管渠を布設する作業は機械が入りにくいところもあり、手作業に頼ることも。

その後、報告事項として現在の上下水道事業の進捗について、世界的な半導体不足の影響等で資材の入荷遅延などの理由により、翌年度への繰越すことについて説明を受けました。

Q 今後、能登半島地震による影響もどの程度か。



信楽町長野地区での管渠布設作業

A 地震の復旧復興による資材不足は避けられないと予測。

Q 毎年、翌年度へ繰越す金額が大きいが今後の対策は。

A 現場の状況などで単年度で事業消化できなく、玉突きで繰越す状況。計画との調整をして事業完了を目指していく。

報告事項

貴生川駅南口官民連携交流拠点基本計画について、民間投資による開発が望めないという現状認識に対する質疑や、この基本計画を早期に議会に対して説明できるようにまとめいくことを確認しました。

組合議会報告

甲賀広域行政組合議会

令和6年第1回定例会 3月26日

令和6年度一般会計予算等5

議案が上程され、審議の結果5議案とも全会一致で可決しました。

手数料条例の一部を改正

政令の一部改正に伴う手数料金額の改正及び所要の改正を行うもの。危険物貯蔵所の設置手数料の改正ですが、管内には対象の施設は無いとのこと。

甲賀市湖南市新ごみ処理施設

整備検討委員会設置条例の制定

新ごみ処理施設建設に係る事務を本格的に進めるにあたり、建設候補地の選定、整備に係る基本構想の策定等を行うため、組合職員以外で構成する管理者の諮問機関として設置するため。

令和6年度一般会計予算

予算額は、35億3,757万5千円で、対前年度比24・91%減。救助工作車の更新1億9千万円など。

一般質問

山岡光広議員

- #7119の活用について
- 災害時のドローンの活用について

なお、ワクチン未接種に対するハラスメント事案等に関して、第三者委員会の最終答申が3月15日に提出されたのを受けて、消防長と同次長に対して停職処分が下されました。

組合議会報告

公立甲賀病院組合議会

令和6年第1回臨時会 1月29日
令和6年第2回定例会 3月27日

令和6年第1回臨時会

補正予算等2議案が上程され、審議の結果2議案とも全会一致で可決しました。

全員協議会

令和5年度上半期事業報告と公立甲賀病院経営強化プランについて報告を受けました。

令和6年第1回定例会

令和6年度一般会計予算等4議案が上程され、審議の結果4議案4議案とも全会一致で可決しました。

令和6年度一般会計予算

予算額は、21億5,340万円で、対前年度比2・6%の減。起債対象として、甲賀看護専門学校校舍改修工事をはじめ、高額医療機器・システム整備計画が予算に計上されました。

令和5年度一般会計補正予算

1億9,748万円の減額は、手術支援ロボット整備事業での入札差額が主なもので、米国製と日本製を検討の結果、日本製を採用。

甲賀病院の定款の変更

訪問看護ステーション湖南サテライトの廃止に伴うもの。

一般質問

西村慧議員

- 甲賀保健医療圏内における小児二次救急の診療体制について

西山実議員

- 新型コロナウイルス、インフルエンザの感染状況について

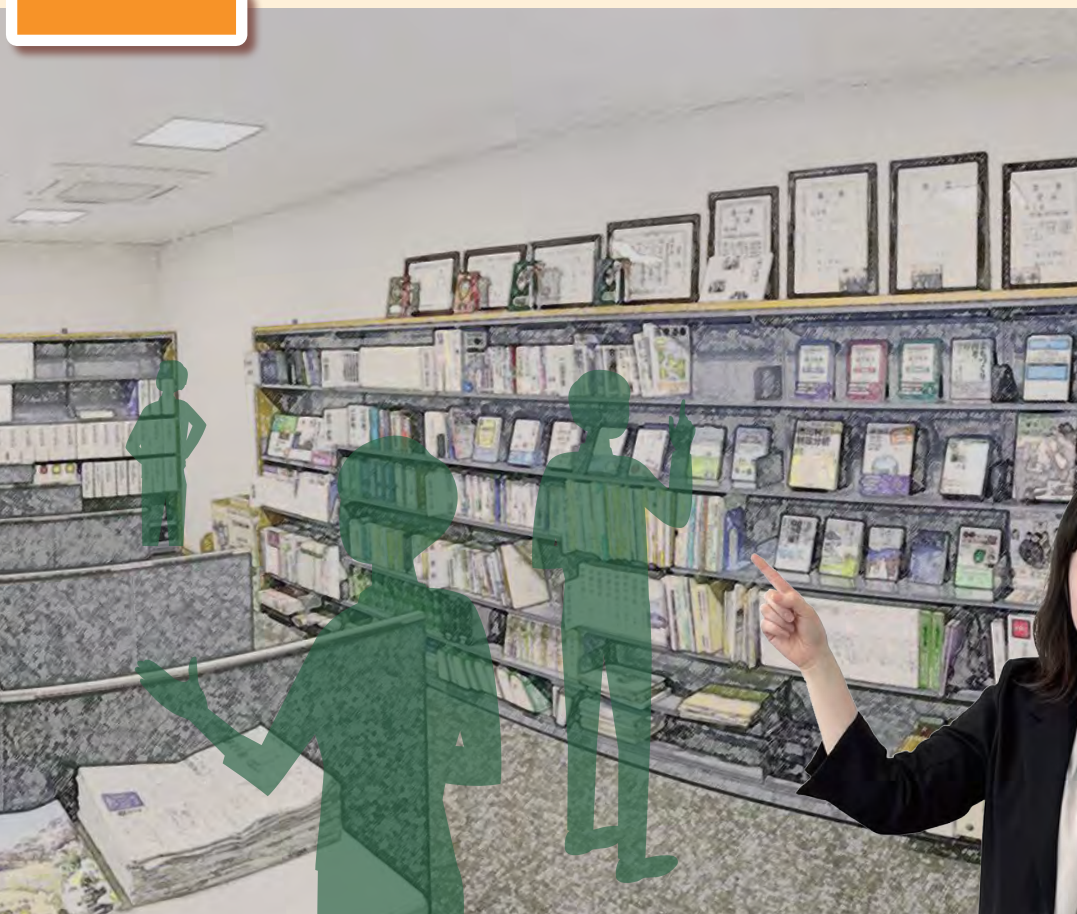
● 休床病床の再開見通しと看護師体制の確立について

に

室

意外と知られていないんです

があるのをご存知ですか？



市役所庁舎5階の議会フロアに「議会図書室」があるのをご存知ですか。意外と知られていません。実は、議員だけでなく、市職員や市民の皆さんも利用することができますよ。



「議会図書室」は、誰でも自由に利用することができます。本や資料を貸し出すこともできます。そこで今回は、議会事務局の鵜飼彩香さんに、図書室の内容をご紹介します。

誰でも自由に利用できます

ちよっと難しいんですが、議会図書室は、地方自治法第100条第19項に基づいて、地方議会に設置することが義務づけられています。

議員活動に役立てるためというのが第一の目的ですが、第20項では、一般に開放して利用に供することもできる、となっています。

ですから、議員はもちろんですが、市職員、市民の皆さんも自由に利用することができます。

議会資料だけでなく諸々の本が

市役所 5階 議会フロア

議会図書

一度覗いて
見るのも
ヨシ



議会では、市民の皆さんの暮らしや経済に関わることが議論されています。市長から提案される議案や議員自ら提案する意見書などについて議論されます。



本会議・各常任委員会の議論は、リアルタイムで誰でも傍聴できます。

また「インターネット」や、「あいコムこうか」での中継もあります。

インターネットでは、録画を視聴することも可能です。



本会議と各常任委員会での議論は、議事録が作成されますので、文字で読むことが可能です。インターネットで検索することも可能ですし、議会図書室にお越しいただくと、すぐに閲覧することができます。



図書室には、甲賀市議会発足以降の議会議事録はもちろんですが、甲賀市の総合計画や各種計画、「朝日」「京都」「産経」「毎日」「読売」五紙の新聞が1週間分ストックしてありますので、とっても便利です。

議会に関する書籍だけではなく、DXやGXに関する書籍、自治会や地域コミュニティに関する書籍などが並んでいます。

希望があればリクエストも

取り寄せてほしい書籍があれば、リクエストして購入することも可能です。静かですし、本を見ながら考え事する時に利用するのも可能です。

書籍の貸し出しも可能です。わからないことがあれば、議会事務局に声をかけてください。お手伝いさせていただきます。(貸し出しは議員と市職員のみです)

議会図書室規程 第8条

一問一答

Q.休日の過ごし方は？



田中 將之

公明党

1日休日はあって無いような感じなので、空いた時間はあちこち片付れたり、農作業をしたりしています。



福井 進

無所属

外国にルーツのある子たちと勉強をしたり、障がいのある人たちとソフトボールをしています。



西田 忠

凧風会

デザインの仕事をすることが多いですが、様々なイベントに努めて参加するようにしています。



小倉 剛

自由民主党誠翔会

各種イベントの参加、また個人事業や農業など、休みが取れた際は家族との時間を大切にしています。



田中 喜克

自由民主党誠翔会

庭の草引きや植木の剪定でほぼ一日が、また近くにいる孫が来るたびに振り回されます。



西山 実

日本共産党

水口城址お堀周りの草刈りボランティアとBIWA-TEKUスタンプラリーを兼ねてプチ旅行。



瀬古 幾司

凧風会

地域行事やイベントがあれば参加しますが、休養と体調管理が一番。散歩や庭の掃除などもします。



西村 慧

凧風会

話題の飲食店（市内外）を目指して家族と出掛けたり、サウナへ「整い」に行きます。



戎脇 浩

自由民主党誠翔会

大好きな？家事と、録りだめしたドラマ鑑賞。でも時間がないため、もはや録画が目的になっている。



木村 眞雄

公明党

天気の良い日は、街散策をしています。特に、昭和ノスタルジックな街並みを歩くのが好きです。



岡田 重美

日本共産党

掃除、洗濯が主です。気になっていた埃を取り除きストレス解消。基本的にインドア派です。



林田 久充

凧風会

4月からは下山区の組長として、地域の行事等区民としての活動も多くなります。



谷永 兼二

凧風会

暖かい季節のマイブームは草刈りとバイクで話題の場所やカフェ、気になるイベントに出かけること。



北田 麗子

自由民主党誠翔会

子どもと過ごす休日は在宅が多く、独りの日は家事をしています。結果、割とインドアです。



堀 郁子

公明党

家事で半日、市民相談の対応に出かけることも多いですが、本を読んだり、テレビを見ています。



橋本 恒典

凧風会

コロナ禍が収まりイベントや地域の事業が戻りつつあり、公務も含めイベントや事業に参加しています。



田中 新人

凧風会

地域活動行事に参加したり、夜は家族で外食したりウォーキングで健康リフレッシュをします。



中島 裕介

自由民主党誠翔会

子どもとの時間を過ごすか、県内外の綺麗な景色を見に行くことが多いです。



奥村 則夫

自由民主党誠翔会

朝、アラームをかけず、目が覚めたら朝食を食べて、ジョギングします。



山岡 光広

日本共産党

以前だったら、山に登って温泉へ。いまは、そんなのんびりできる休暇がほしい。



橋本 律子

凧風会

地域イベントには極力参加させていただき、カラオケ等家事から距離を置いて楽しい時間を選んでいきます。

6月定例会の予定

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
6/2	3	4	5 本会議 (第1日)	6	7	8
9	10	11	12	13 本会議 (第2日)	14 本会議 (第3日) 一般質問	15
16	17 本会議 (第4日) 一般質問	18 本会議 (第5日) 一般質問	19 本会議 (第6日) 一般質問	20 委員会	21 委員会	22
23	24 委員会	25 委員会	26	27	28 本会議 (第7日)	29
30	7/1	2	3	4	5	6

※午前9時30分から開会します。

編集後記

▶遅桜から若葉薫るいい季節となりました。▶能登の震災復興を祈る中、列島各地で予期せぬ変化が起きている。改めて日頃からの防災意識を高め、地域での共助を一層深めていく必要があると痛感。▶今回、子ども議会の皆さんと懇談させていただき市政への新鮮な気づき、まちづくりへの期待が伝わって嬉しく歓談できたいい機会でした。議会だよりを通して「市民の声」を大きく生かせるよう努めます。▶皆様のご意見お待ちしております。(広報部会員 橋本律子)

※QRコードは(株)デンソーウェアの登録商標です。